

<<米国 FDA による リコール情報（2026 年 1 月分）>>

2026 年 1 月に米国食品医薬品局（FDA）により発出された、食品、飲料、栄養補助食品のリコール情報は 20 件であり、その内訳は以下の通り。

リコール理由	件数
有害病原菌の検出（サルモネラ 5 件、リステリア 2 件、ボツリヌス 2 件）	9 件
アレルギー表示漏れ	6 件
医薬品原材料を含む栄養補助食品	2 件
鉛汚染（調理器具、エビのペースト）	2 件
異物混入（柔らかいプラスチック片や紙片）	1 件

これらの 20 件のリコール情報のうち、有害病原菌汚染（サルモネラ菌、リステリア菌、ボツリヌス菌）によるものが 9 件、ラベル表示におけるアレルギーの記載がなかったものが 6 件であり、これら 2 つがリコール理由の 7 割以上を占めた。「企業名（Company Name）」をもとに確認したところ、日本企業や日系企業にかかるとみられるリコール案件は確認されなかった。

<有害病原菌の検出>

ボツリヌス菌、カンピロバクター、O157:H7 およびその他の腸管出血性大腸菌、リステリア菌、サルモネラ菌やマイコトキシン等の有害細菌が食品に含まれると、広範囲かつ重篤な食中毒の原因となる可能性がある。

今回、ボツリヌス菌 2 件のうち 1 製品は pH 制御食品（酸性～弱酸性に保つことで細菌の繁殖を抑え、変色や変質を防ぎ、安全・高品質に保つ加工食品）で、必要な規制当局の認可や、温度監視記録が無いためリコールとなった。pH 制御食品は適用される規制要件に従って製造されていないと、ボツリヌス菌に関連する毒素を産生する微生物を含む微生物の増殖の潜在的なリスクを伴う。もう 1 つの製品は、缶詰の「イージーオープン」蓋（プルトップとも呼ばれる、缶切り不要の缶詰蓋）に製造上の欠陥があり、特に経年劣化により製品の完全な密封性が損なわれ、液漏れや、最悪の場合、致命的な食中毒を引き起こす可能性のあるボツリヌス菌による汚染を引き起こす可能性があるため、リコールとなった。

ボツリヌス菌症は、神経系に影響を及ぼす可能性のある、まれではあるが深刻な病気で、症状には、全身の倦怠感、めまい、複視、発話困難または嚥下困難、そして重症の場合は呼吸困難や筋力低下などがある。

#### <医薬品原材料を含む栄養補助食品>

今月、この理由によりリコールされた栄養補助食品は2種類である。1種類目は関節や体の痛みを和らげるために販売されている栄養補助食品カプセルであり、変形性関節症の疼痛管理に使われる非ステロイド性抗炎症薬（NSAID）として医薬品成分として承認されているメロキシカムを含んでいる。2種類目は代謝促進、脳機能改善、食欲抑制を目的とした栄養補助食品カプセルで、複数の医薬品成分を含んでいる。栄養補助食品は医薬品ではなく、あくまで食品のカテゴリーであるため、医薬品成分を含む製品を栄養補助食品として販売することはできない。

#### <鉛汚染（調理器具、エビのペースト）>

今月、この理由によりリコールされた製品は2種類ある。1つ目は、アルミ製または真鍮製の調理器具が高濃度の鉛（Pb）に汚染されており、食品に浸出する可能性があるため、2つ目は食品であるエビのペーストに高濃度の鉛が含まれているためである。

鉛は人体に有毒であるが、鉛の安全な摂取量閾値は分かっていない。少量の鉛摂取であっても、特に子供や胎児に深刻な健康問題を引き起こす可能性があり、高濃度の鉛を含む食品を摂取すると、血中鉛濃度の上昇につながる可能性がある。子供が長期間（数週間から数ヶ月間）にわたってある程度の量の鉛を摂取した場合、中枢神経系に永久的な損傷が生じ、学習障害、発達障害、その他の長期的な健康問題につながる可能性がある。また、成人の場合、慢性的な鉛摂取は腎機能障害、高血圧、神経認知機能への影響がある可能性がある。

調理器具のリコールは、FDAによる定期的なサンプリングプログラムの結果、完成品に高濃度の鉛が含まれていると判明したことによるものである。エビのペーストのリコールは、複数の子供に血中鉛濃度の上昇が見られたという報告を受けてFDAが分析した結果、当該製品に高濃度の鉛が含まれていることが判明したものである。

出所：[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#)（英語）

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。米国輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、米国輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先：

米国輸出支援プラットフォーム（ジェトロロサンゼルス事務所）

TEL：1-213-624-8855

Email：[lag-USPF@jetro.go.jp](mailto:lag-USPF@jetro.go.jp)

Eureka Global Solutions 作成